

<編集>

福山市 経済環境局
環境部 環境啓発課
TEL 084-954-2619
FAX 084-954-4418



みんな
あそびに
きてね!



2012年1月に福山市は、国から「次世代エネルギーパーク」として認定され、福山市リサイクルプラザが低炭素社会・循環型社会・自然共生社会の3つの社会実現に向けた中核施設として新たな役割を担っています。

このことにより、屋内外をリニューアルし、大型複合遊具の設置や芝生広場などで「きて、みて、ふれて楽しく遊ぶ」をコンセプトに環境について考えるきっかけとなる施設となっています。

今年度からは、これまでのリサイクル体験講座だけでなく、幅を広げた3つの社会をテーマに環境講

福山市
リサイクルプラザ
福山市箕沖町 107-2



子どもから大人まで楽しめる施設です



座「ecoちゃんじ講座」を行います。リニューアルする講座なので、多くの市民の皆さんに受講していただきたいと考えています。

その他、環境分野から子育てを応援する「子育て用品リユース市」をスタートします。思い出の詰まった子育て用品を無償で提供するものです。家庭に眠っている子育てに使用した品があれば、一度お気軽にお問い合わせください。

環境にやさしい取り組みで子育て応援

子育て用品リユース市

子どもの成長とともに使わなくなった子育て用品を、福山市リサイクルプラザでお預かりし、必要に応じて子育て中の家庭にお譲りをするリユースの取り組みを行っています。

- ① 使わなくなった子育て用品をリサイクルプラザで引き取ります。
- ② 簡単な清掃を行いリサイクルプラザで展示します。
- ③ 品物によりその場で提供したり、抽選でお譲りします。



大切なお子さんを育ててきた「子育て用品」を、必要な家庭にお譲りいただけませんか。思い出をコメントにさせていただき、大切に使用いただける方におつなぎします。
※子ども服からベビーベッドなどが対象で持ち込みの際には事前にご相談ください。

トピックス Topics

旬な
話題!

6月は環境月間 ～ちょっとはよい情報～

昨年度に続き「エコでえ〜こと HAPPY キャンペーン」を6月3日(日)から実施します。取り組みの内容は、小型家電の回収と新たに「フードドライブ」を計画しています。「フードドライブ」とは、ご家庭で眠っている「まだ食べられるけど食べる予定のない食品」を指定の窓口にお持ちいただくことです。

集められた食品は、団体を通じ、必要としている福祉団体、施設に寄付をするものです。

フードドライブで、食品ロスを減らし、環境にやさしく、人にやさしい取り組みを一緒にしましょう。

6月の環境月間から実施する「エコでえ〜こと HAPPY キャンペーン」のスタートに合わせ、6月3日にリサイクルプラザにおいて「環境イベント」を計画しています。内容は6月号で詳しくお伝えしますが、子どもから大人まで楽しんでもらえる内容を企画します。ぜひ、6月3日は予定を空けておいてくださいね。



—環境の日及び環境月間—

6月5日は環境の日です。1972年6月5日からストックホルムで開催された「国際人間環境会議」を記念して定められたものです。これらのことから、日本では、1991年から6月の1ヶ月間を「環境月間」とし、全国で様々な行事が行われており、世界各国でも、行動の契機とするため様々な行事が行われています。

環境関連施設

バス見学のご案内

市民団体を対象に、箕沖地区の次世代エネルギー施設や、ごみ処理施設の見学を実施します。

大型バスまたは、中型バスにて送迎いたしますのでご希望される団体はお申込みください。

見学の内容などの詳細は福山市 HP に掲載しています。電話でもお気軽にお問い合わせください。

振り返り



受賞団体のご紹介
福山市立新市小学校/福山内港の環境再生技術検討会

2018年3月3日(土)にふくやま環境賞授賞式を行いました。この賞は、地球温暖化防止活動、3R推進活動、環境保全活動など、地球環境にやさしい取り組みを実践し、特に優秀と認められた団体に贈られるものです。



当日、「天気の人から見た天気と地球温暖化」と題し、テレビでおなじみの天達武史さんを招き、環境保全講演会を行いました。講演は子どもから大人まで、楽しく天気を通じ環境問題に興味を持てる内容でした。天達さんは、大変気さくな方でした。

ごみ・環境情報 メール配信しています!

休日や祝日のごみ処理施設
の受入日・ごみ収集日など

登録無料

QRコードで
簡単アクセス



福山市メール配信サービス 検索

福山市リサイクルプラザ Fukuyama Recycle Plaza

〒721-0956 福山市箕沖町 107 番地 2

TEL084-954-2619 / FAX 084-954-4418

E-mail kankyou-keihatsu@city.fukuyama.hiroshima.jp

開館時間 9:00~17:00

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日が休館日)



eGO ちやれんじ講座

事前に申し込みが必要な講座は、毎月ひとり2講座までです。多くの皆さんに受講していただくためにご協力をお願いします。なお材料費が必要な場合は当日お支払いください。

4月の予定

4月分の申し込みは4月3日(火)8時30分からです

10日(火) 古布が甦る布ぞうりづくり

13:00~15:30
定員 7名
無料



12日(木) 甦れマイ包丁(包丁研ぎ)

13:00~15:00
定員 10名
材料費 200円



15日(日) 古着を使ってさき織り体験

13:00~15:00
定員 10名
無料



19日(木) 春の花で節句飾り(はがき絵)

13:00~15:00
定員 15名
材料費 300円

押し花

20日(金) 世界にひとつだけのアクセサリづくり

13:00~16:00
定員 20名
材料費 100円

ガラス溶融

21日(土) 余り布で巾着づくり

9:30~12:00
定員 10名
材料費 100円

布リフォーム

29日(日) 木片でおもちゃをつくって遊ぼう

10:00~12:30
申込みは不要
無料



30日(祝) ボタンとはぎれでアート遊び

10:00~12:30
申込みは不要
無料



5月の予定

5月分の申し込みは5月8日(火)8時30分からです

3日(木) トレイで小物入れ

10:00~12:00
申込みは不要
無料



4日(金) 新聞紙でエコバッグをつくろう

10:00~12:00
申込みは不要
無料



5日(土) 土ねんどで遊ぼう!

10:00~12:00
申込みは不要
無料



17日(木) 古布が甦る布ぞうりづくり

9:30~12:00
定員 7名
無料

22日(火) 畳の縁で日よけ帽子

9:30~12:00
定員 10名
材料費 100円



布リフォーム

25日(金) ガラスが素敵なアクセサリに

13:00~16:00
定員 20名
材料費 100円

ガラス溶融

26日(土) 木のぬくもりが伝わる木エづくり (ジグソーパズル)

13:00~15:00
定員 10名
材料費 500円



小型家電リサイクルのお話

「小型家電リサイクル法」をこ存じます。

この法律は2013年4月から始まり、ご家庭で使わなくなった電気や電池で動く製品が広く対象となっています。

福山市は、2017年10月から2月まで、小型家電リサイクルを多くの市民の皆さんに知ってもらうために「エコでえ〜こ〜HAPPYキャンペーン」を実施し、このキャンペーンを通じ市民の皆さんにご協力いただき多数の使用済の小型家電を回収することができました。

では、なぜ小型家電を集める必要があるのでしょうか。小型家電には鉄、アルミ、金、銀、銅といった希少な金属が含まれています。日本では一年間の使用済となる小型家電が65万トンにもなるそうです。

福山市では、多くの小型家電を、ごみの分別ルールで「不燃(破碎)ごみ」の日に出し処分することができません。収集した小型家電を、箕沖町に位置するリサイクル工場でリサイクルを行うための中間処理を適正に行っ

引き取りができる主な家電製品

パソコン/携帯電話/モバイルバッテリー/電話機/タブレット端末/USB メモリー/電子辞書/電卓/モデム/ワープロ/マウス/ビデオカメラ/BD レコーダー・プレーヤー/MD プレーヤー/CD プレーヤー/電子血圧計/電気カミソリ/電子体温計/ヘアドライヤー/歩数計/電気バリカン/補聴器/懐中電灯/置時計/ポータブルゲーム機/汎用リモコン/電子玩具/腕時計/炊飯ジャー/ミキサー/オーブントースター/IH 調理器/食器洗い乾燥機/空気清浄機/冷風機/電気毛布/電気スタンド/電動式玩具/石油ファンヒーター/その他

※但し、エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機の4品目は除く

ていますが、金、銀、銅といった希少な金属を回収することができません。現在、福山市リサイクルプラザや各環境センターにおいて小型家電の引き取りを行っています。また、家電販売店での引き取りも行われています。※但し製品により有料。限りある資源を有効に活用するために、「一歩」進んだリサイクルを取り組んでみませんか。

食品ロスについて考えよう

食品ロスとは

食べられる状態であるにもかかわらず、捨てられている食品のことをいいます。食品ロスを削減して、食品廃棄物の発生を減らしていくことが大切です。

食品ロスの約半数は家庭から

食品ロスは、食品メーカーや卸、小売店、飲食店、家庭など「食べる」ことに関係する様々な場所で発生しています。そのうち、家庭から排出される食品ロスは、全体の約半数にあたる年間約302万トンが発生しています。食材別にみると最も多いのが野菜、次いで調理加工品、果実類、魚介類です。

食品を食べずに捨てた理由として多いのは、
・鮮度の低下、腐敗、カビの発生
・消費期限・賞味期限が過ぎた
などが挙げられます。そのほか、調理の際での野菜の皮剥ぎや肉の脂身を取り除くなど、食べられる部分を過剰に捨てていることも食品ロスの原因になっています。

食品ロスを減らそう

食品ロスが日本では年間632万トンにのぼり、国民ひとりあたりに換算すると、毎日お茶碗1杯分(約136グラム)のご飯を捨てていることとなります。大切な食べ物を無駄なく消費し、食品ロスを減らすための簡単な工夫をご紹介します。

- 1) 食材を「買いすぎず」「使い切る」「食べきる」
値段が安い、在庫があることを忘れて食材を買ってしまうなど、結局使い切れず腐らせてしまう原因にもなります。
食材の在庫を確認し、必要なものだけを買うようにしましょう
- 2) 残った食材は別の料理に活用
料理は食べられる量だけ作りましょう。残ってしまった場合は冷蔵庫で保存し、早めに食べましょう。また、別の料理に活用するなど食べきる工夫が大切です。
- 3) 「消費期限」と賞味期限の違いを理解
消費期限は品質の劣化が比較的早い食品に表示され、それを超えたものは食べないほうが安全です。賞味期限は品質の劣化が比較的遅い食品に表示され、それを超えてもすぐに食べられなくなるわけではありません。
- 4) 外食の食べ残しを防ぐ
小盛メニューがあれば利用したり、料理を注文する際「食べきれないかも」と思ったら「少なくできますか」とお願いしてみましょう。

引用：政府広報オンライン